国語

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
国語科
第３学年

１．教科の目標
言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	（知識・技能）
⑵社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を養う。	（思考・判断・表現）
⑶言葉がもつ価値を認識するとともに，言語感覚を豊かにし，我が国の言語文化に関わり，国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)相手や場に応じて話したり、表現の工夫などを評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりすることができるように指導を行う。	（知識・技能）
(2)目的に応じて文章を読み、自分の考えを広げることや、効果的に文章を書くことができるように指導を行う。	（思考・判断・表現）
(3)言葉の決まりを理解し、自己の語彙力を高め、伝統的な言語文化に関心を持ち主体的に学習に取り組めるよう指導を行う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに，我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	・知識の活用（作品） ・テスト
(2)思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い，社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・話し合い活動の振り返り ・文章構成の工夫（作文） ・文章について評価・批評
(3)主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに，読書を通して自己を向上させ，言葉を適切に使おうとしている。	・学習計画表 ・振り返りシート

４．年間指導計画

・授業時数　　140 時間

・教科書　　光村図書　国語３　　光村図書　中学書写
第一学習社　精選現代の国語　精選言語文化

・副教材　　中学必修テキスト3・パワーアップＮＥＸＴ国語３・例文漢字3・必携頻出　古文単語３４０＋漢文語彙２１０　・古典常識も学べる新明説総合古典文法　・徒然草による用言ノート

第３学年　　国語科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	12	言葉の特徴や使い方に関する事項	ウ			俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 漢字に親しもう１ 言葉１　漢語・和語・外来語 漢字に親しもう３ 書写	・筆者のものの見方・感じ方・表現の仕方について味わい、俳句の世界に親しむことができる。 ・言葉の性質について知り、日々の生活で使用する熟語について考えることができる。	・俳句の形式とその特徴について理解することができている。 ・これまでに学習した漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができている。	・表現の仕方を考えたりして、自分の考えが分かりやすく伝わるよう工夫することができている。 ・俳句を創作するなど，感じたことや想像したことを書くことができている。	・文章の種類とその特徴について理解し，学習課題に沿って，鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。 ・俳句を読んで考えたことや読み取った事柄について伝えようとしている。	
5月	13	読むこと	エ			読書を楽しむ・読書案内 挨拶「原爆の写真によせて」 故郷 漢字２　漢字の造語力 漢字に親しもう３ 言葉２　慣用句・ことわざ・故事成語 書写	・人々の心の中に変わらず流れ続ける事柄について考えることができる。 ・比喩や象徴的な表現に着目し、現代社会の状況と比較しながら考えを深めることができる。	・表現に注意して読み、語句の意味を理解することができている。 ・漢字や語句について、文章の中で使い慣れることができている。	・文章を読んで考えを広げ、人間・社会・自然などについて自分の意見を持つことができている。 ・現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め，作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し，学習課題に沿って読み深めた詩について，感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	
６月	14	読むこと	イ			人工知能との未来 多角的に分析して書こう 漢字に親しもう４ 合意形成に向けて話し合おう 書写	・社会生活から課題を見つけ、論理の展開や表現を工夫して文章を書くことができる。	・情報の信頼性の確かめ方を理解することができている。 ・具体と抽象などの情報の関係について理解することができている。	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方に対して、自分の意見を持つことができている。	文章を批判的に読み，学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	
７・8月	12	我が国の言語文化に関する事項	ア			初恋 和歌の世界 君待つと「万葉・古今・新古今」 書写	・言葉の響きやリズムを味わい朗読することができる。 ・古語の意味を理解し、作品の背景を理解することができる。	歴史的背景に注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができている。	・文語定型詩の構成や場面の展開に注意して，表現された情景や心情を想像している。 ・文章の表現や構成について評価し、考えたことを伝えることができている。	・和歌の決まりを知り、自分で作品を作ろうとしている。 ・進んで語感を磨き，今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。	
９月	13	我が国の言語文化に関する事項	ア	イ		夏草「奥のほそ道」 古典名句・名言集 漢字３ 漢字のまとめ それでも、言葉を 書写	・歴史的背景を考えながら、作者のものの見方や考え方を読み取ることができる。	長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができている。	・文章の種類を踏まえて、展開の仕方などを捉えることができている。 ・芭蕉の「旅」についての考えを読み取り，現代の「旅」がもつ意味と比較している。	古典の文章を読み、その世界について自分の意見をもち，学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。 学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１０月	13	読むこと	エ			漢字に親しもう５ 文法への扉２ 本は世界への扉 アラスカとの出会い 温かいスープ 私を束ねないで 書写	・筆者のものの見方を捉え、これからの自分の生き方を考えることができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができている。	・抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり，文脈上での意味を確認したりしながら，文章を読んでいる。 ・文書を読んで、人間・社会・自然について自分の考えを持ち、自分の言葉で伝えることができている。	進んで読書の意義と効用について理解し，今までの学習や経験を生かして，ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。	
１１月	13	書くこと	イ			三年間のあゆみを振り返ろう 漢字に親しもう６ 学習を振り返ろう 文法を生かす・文法のまとめ 書写	・学習を振り返り、自分の取り組んできたことや、これからの可能性について考えることができる。	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができている。	関心のある事柄について文章にまとめるなどして伝えたい内容を整理して書くことができている。	言葉を選んだり構成を工夫したりして文章をまとめたり，友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。	
１２月	13	読むこと	イ	ウ		現代の国語 水の東西 書写	・論理の展開に注意して読み、内容を対比的に捉えることができる。	二項対立的な評論の読解方法を習得することができている。	・西洋文化と対比された、日本文化の特徴について理解を深める。 ・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	幅広く柔軟な思考力を養うために、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。	
１月	12	我が国の言語文化に関する事項	ア			言語文化　古文の基礎知識 宇治拾遺物語「児のそら寝」「絵仏師良秀」 書写	・歴史的仮名遣いや古文を学習するための基礎知識を習得することができる。 ・説話の面白さを読み味わうことができる。	歴史的背景に注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができている。	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わうことができている。 ・敬語の知識を整理し、実際の使われ方を理解することができている。	古典を読み味わい、作品の価値について自分の考えを文章にまとめようとしている。	
２月	13	言葉の特徴や使い方に関する事項	イ			言語文化 動詞の活用表 訓読の基本 格言 書写	・古文の動詞の活等、用言についての理解を深めることができる。	古文で使用される言葉のきまりについて理解することができている。	・過去の助動詞について理解することができている。 ・係り結びと完了・打消・推量の助動詞について理解することができている。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、粘り強く知識を身に付けようとしている。	
３月	12	我が国の言語文化に関する事項	イ			言語文化 漢文の基礎知識 故事成語「漁夫の利」「蛇足」 訓読・句法 書写	・漢文の訓読や基本的な句法を理解することができる。	歴史的背景に注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができている。	・比較的短い文章を読んで漢文に親しみを持ち、話の内容を理解することができている。 ・故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わうことができている。	古典を読み味わい、作品の価値について自分の考えを文章にまとめようとしている。	

社会

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
社会科
第３学年

１．教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して， 広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家 及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

⑴我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
⑵社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断した ことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	（思考・判断・表現）
⑶社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)基礎的・基本的な知識を習得させながら，既存の知識を実生活や昨今の情勢と関連付けることで，個別の知識の定着を図るとともに，社会において様々な場面で活用できるように知識を概念として獲得できるようにする。また，ICT機器を活用して課題解決に必要な情報資料を自分で考えて収集させたり，収集した情報を社会的な見方・考え方を働かせて読解・分析したり，収集して読み取った情報を整理して課題解決に向けてまとめていく作業を繰り返し行い，情報活用技能を向上させていく。	（知識・技能）
(2)社会的事象個々の仕組みや働きを理解するにとどまらず，社会的事象自体のもつ「多面性」と社会的事象をとらえる時の「多角性」を踏まえて考察させていく。特に現実社会で起こる多種多様な課題を積極的に取り上げ，自分の意見を持たせた上で，他の生徒や社会に存在する様々な立場の意見を検討したり，議論を行っていくことで，自分の意見を根拠を持って再構成したり，表現することができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)社会的事象と実生活が関連した教材を積極的に取り上げることで，生徒が主体的に課題解決に取り組む必要性を感じ，意欲的に課題解決に取り組めるようにする。また，日本の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等について多面的・多角的な考察し，それらの事象について深く理解することで，主権者として自覚を深め，よりよい社会の実現に貢献するために学び続けようとする姿勢を養っていく。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ・個人の尊厳と人権の尊重の意義，特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し，民主主義，民主政治の意義，国民の生活の向上と経済活動との関わり，現代の社会生活及び国際関係などについて，個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに，諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	定期考査，単元テスト，学習の取り組み
(2)思考・判断・表現	・歴史に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。 ・社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，現代社会に見られる課題について公正に判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	定期考査，単元テスト，学習の取り組み
(3)主体的に学習に取り組む態度	・歴史に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・現代の社会的事象について，国家及び社会の担い手として，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	学習の取り組み，活動の観察，学習の振り返り，学習材，小テストなど

４．年間指導計画

・授業時数　　140 時間

・教科書　　・新しい社会 歴史（東京書籍）　・新しい社会 公民（東京書籍）

・副教材　　・中学歴史資料集 学び考える歴史【広島県版】（浜島書店）　・ワイド版 公民資料集２０２６（新学社）
・教科書対応ワーク　歴史の完全学習２・３（正進社）　　・教科書対応ワーク　公民の完全学習（正進社）　・３年間の総まとめ問題集(新学社)

第３学年　　社会科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４・５月	24	歴史	C	（１）		○近現代の日本と世界 ：二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本	・第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことに関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、主体的に解決・追究することができる。 ・軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことに関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、主体的に解決・追究することができる。	・第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解できる。 ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解できる。	・経済の変化がもたらす政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現，第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・近代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現できる。	・近代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決・追究しようとしている。	
６月	15	歴史	C	（２）		○近現代までの日本と世界 ：現代の日本とわたしたち ・戦後日本の出発 ・冷戦と日本の発展 ・新たな時代の日本と世界	・第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことに関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、主体的に解決・追究することができる。 ・我が国の経済や科学技術の進展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことに関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、主体的に解決・追究することができる。	・冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解できる。 ・高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の進展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解できる。	・諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，日本の民主化と冷戦下の国際社会，日本の経済の発展とグローバル化する世界について現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察し，表現できる。	・現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決・追究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
7・8月	15	公民	A	（1） （2）		○私たちと現代社会 ：現代社会と私たち ・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方	・現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響、文化の継承と創造の意義、契約を通した個人と社会の関係、きまりの役割に関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、よりよい社会の実現に向けて主体的に解決・追究することができる。	・現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解できる。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解できる。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解できる。 ・人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解できる。	・位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，決まりの役割について多面的・多角的に考察し，表現できる。	・私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ・現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	
9月	18	公民	C	（1）		○私たちと政治 ：個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障	・日本の日本国憲法の考え方に基づく個人の尊重と法の支配、民主主義などの民主政治、基本的人権の保障に関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、よりよい社会の実現に向けて主体的に解決・追究することができる。	・人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解できる。 ・民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解できる。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解できる。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解できる。	・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，「ちがいのちがいを追究しよう」などの対話的な活動を通じ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考察，表現できる。	・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	
10・11月	25	公民	C	（2）		○私たちと政治 ：現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち	・日本の政治の基本的な考え方のあらましや意義、民主政治の推進、国民の政治参加に関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、将来国政に参加する主権者の１人として主体的に解決・追究することができる。	・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解できる。 ・議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解できる。 ・国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解できる。 ・地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解できる。	・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について「S市の市長になって条例を作ろう」などの対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，構想し，表現できる。	・民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
12・1月	27	公民	B	（1） （2）		○私たちと経済 ：私たちの暮らしと経済 ・消費生活と経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融 ：国民の生活と政府の役割 ・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融の仕組み、財政がもたらす国民の生活と福祉の向上に関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、主権者としてよりよい社会の実現・経済活動に向けて主体的に解決・追究することができる。	・身近な消費生活を中心に，経済活動の意義について理解できる。 ・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解できる。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解できる。 ・勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解できる。 ・社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解できる。 ・財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解できる。	・対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任や，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりすることができる。 ・対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や，財政及び租税の役割について，現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察，構想したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。 ・国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して，自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	
2・3月	16	公民	D	（1） （2）		○私たちと国際社会の諸課題 ：地球社会と私たち ・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ：よりよい社会を目指して	・国際社会における日本の役割、国際社会の問題、持続可能な社会の形成に関して課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、将来人類の一員としてよりよい社会の実現に向けて主体的に解決・追究することができる。	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解できる。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解できる。 ・地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解できる。	・対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現できる。	・世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。	

数学

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
数学科
第３学年

１．教科の目標
　数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したりして，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の課程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2) 事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	定期考査 単元テスト
(2)思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	定期考査 単元テスト パフォーマンス課題
(3)主体的に学習に取り組む態度	各単元の考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	定期考査・単元テスト・パフォーマンス課題等

４．年間指導計画

・授業時数　　175 時間

・教科書　　学校図書「数学３」　数研出版「数学Ⅰ」「数学A」

・副教材　　数研出版「体系問題集幾何編Ⅱ」　「サクシード数学Ⅰ＋A」「チャート式基礎からの数学Ⅰ＋A」

第３学年　　数学科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4月	20	B図形	(1)			相似な図形	・平面図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。また、相似比の意味を理解し、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ・三角形の相似条件を理解し、それを利用して２つの三角形が相似かどうか判断することができる。 ・三角形と比の定理を証明し、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ・相似な図形や相似な立体で相似比から面積比や体積比を求め、それを利用して面積や体積を求めることができる。	・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ・基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。	・三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比について性質を見いだし、それらを確かめることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	・相似な図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。	
5月	8	B図形	(2)			円	・円周角と中心角の関係を見いだし、その意味を理解する。 ・円周角の定理を利用して図形の性質を見いだし、証明することができる。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを知り、それを利用して４つの点が同一円周上にあるかどうか、証明することができる。	・円周角と中心角の関係の意味を理解し、証明することができる。	・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	・円周角と中心角の関係のよさを実感して粘り強く考え、円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。	
	10	B図形	(3)			三平方の定理	・三平方の定理の意味を理解し、それが証明できる。 ・三平方の定理を利用して、平面図形や空間図形のいろいろな長さを求め、面積や体積を求めることができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	・三平方の定理の意味を理解し、それを証明することができる。	・三平方の定理を見いだすことができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	・三平方の定理のよさを実感して粘り強く考え、三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。	
６月	15	数学Ⅰ 数と式	(1)			数学Ⅰ 数と式	数を実数まで拡張する意義を理解できるようにする。また，式を多面的にみたり処理したりするとと	・数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解することが出来る。 ・二次の乗法公式及び因数分解の	・集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明することができる。 ・問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることがで	数と式について数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり，問題解決の	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
		数と式				数と式	もに，1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	公式の理解を深めることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めることができる。	きる。 不等式の性質を基に一次不等を解く方法を考察すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用することができる。	過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
７月 ８月	20	数学Ⅰ ２次関数	(3)			数学Ⅰ ２次関数	2次関数とそのグラフについて理解し，2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できるようにする。	・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解することができる。また，二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し，二次関数のグラフを用いて二次不等式の解をめることができる。	・二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	二次関数について数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
９月	20	数学Ⅰ 図形と計量	(2)			数学Ⅰ 図形と計量	三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できるようにする。	・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解できる。 ・三角比を360°まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて360°の三角比の値を求める方法を理解できる。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し，三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。	・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	図形と計量について数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
１０月	20	数学A 図形の性質	(1)			数学A 図形の性質	平面図形や空間図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。	・数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。	図形の性質について数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
１１月	10	数学Ⅰ 集合と命題	(2)			数学Ⅰ 集合と命題	・数学での集合の考え方について理解し，集合と集合の関係を指揮で表現することができる。 ・命題，条件とは何かを理解し，分野式が正しいか正しくないかについて，論理的に考えることができる。 ・数学で用いられる代表的な照明方法について知り，証明問題に利用することができる。	・集合と命題の基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に着けている。 ・集合と命題において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論などの技能をみにつける。	・関心を持つとともに事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な考え方をみにつける。	・集合と命題の考え方に関心を持つとともに事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１１月～１月	28	数学A 場合の数と確率	(2)			数学A 場合の数と確率	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解することができる。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値や独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。	・場合の数と確率に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。 ・パズルなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて数学を活用して考察することができる。	・場合の数と確率について数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
２月	15	数学Ⅰ データの分析	(4)			数学Ⅰ データの分析	統計の基本的な考えを理解するとともに，それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。	・分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解することができる。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして，データを表やグラフに整理したり，分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考えを理解することができる。	・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。	データの分析について数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	
３月	9	整数の性質	(3)			数学A 数学と人間の活動	整数の性質についての理解を深め，それを事象の考察に活用できるようにする。	・自然数の素因数分解を求めることができ,自然数の正の約数やその個数を求めるのに，素因数分解が利用できることができる。 ・2次の不定方程式を解くことができる。 ・最大公約数と最小公倍数に成り立つ性質を利用して，2数の最大公約数と最小公倍数が既知のときにその2数を求めることができる。 ・整数をある正の整数で割った余りで分類して，簡単な整数の性質を証明することができる。	・整数aを正の整数bで割る割り算を，aとbの間に成り立つ等式としてとらえることができる。 ・互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から考察し，一般にも適用できることに気付く。 ・整数に関する問題を，1次不定方程式に帰着させることができ，問題を解くことができる。	整数の性質について数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	

理科

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
理科
第３学年

１．教科の目標

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察， 実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な 資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)自然の事物・現象について理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)自然の事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	自然科学に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査、小テスト、実技テスト、観察、実験レポート
(2)思考・判断・表現	自然科学に関する事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期考査、小テスト、レポート
(3)主体的に学習に取り組む態度	自然科学に関する事物・現象に進んで関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	自主学習ノート、行動観察、振り返りシート

4．年間指導計画

・授業時数　　140　時間

・教科書　　未来へひろがるサイエンス

・副教材　　理科の完全学習　３年
中学実力練成テキスト　理科３年

第３学年　　理科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月 ５月	22	第２分野	(6)	（イ）	㋐ ㋑ ㋒	地球から宇宙へ	太陽の観察を行い，その観察記録や資料から，太陽の形や大きさ，表面のようすなどの特徴を見いだし，観測資料などから，惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解するとともに，太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につける。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら，太陽のようす，惑星と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	太陽のようす，惑星と恒星について，天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，太陽のようす，惑星と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現し，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	太陽のようす，惑星と恒星に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				（ア）	㋐ ㋑	太陽と恒星の動き	太陽や星座の日周運動の観察を行い，天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解するとともに，季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ，それらの観察記録を，地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解し，天体の動きを観察する技能を身につける。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら，日周運動と自転，年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	天体の動きと地球の自転・公転について，天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				（イ）	㋒	月と金瀬の動きと見え方	月や金星の動きや見え方の観察を行い，月や金星の観察記録などから，見え方を月や金星の公転と関連づけて理解するとともに，月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につける。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら，月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	月や金星の運動と見え方について，天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
6月 7月 8月 9月	36	第１分野	(5)	(ア)	㋐ ㋑	力のつり合い	水中にある物体には浮力がはたらくことを見いだし，重力と浮力のつり合いの関係から，浮き沈みのしくみを理解する。次に，合力を導入し，作図によって合力を求めることができるようにする。最後に，分力の求め方を理解する。	力のつり合いと合成・分解を日常生活や社会と関連づけながら，水中の物体にはたらく力，力の合成・分解についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	力のつり合いと合成・分解について，見通しをもって観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，力のつり合い，合成や分解の規則性や関係性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	力のつり合いと合成・分解に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				(イ)	㋐ ㋑	物体の運動	記録タイマーなどを使って，物体の速さや運動のようすを調べる方法を身につけ，物体にはたらく力と運動の関係を理解する。	運動の規則性を日常生活や社会と関連つけながら，運動の速さと向き，力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	運動の規則性について，見通しをもって観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	運動の規則性に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				(ウ)	㋐ ㋑	仕事とエネルギー	仕事の定義を理解させ，仕事の原理を見いだす。また，仕事をする能力としてエネルギーを定義し，位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと，物体の高さや質量，速さとの関係を見いだす。摩擦や空気の抵抗がなければ，力学的エネルギーが保存されることを理解する。	仕事とエネルギーを日常生活や社会と関連つけながら，仕事とエネルギー，力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	仕事とエネルギーについて，見通しをもって観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	仕事とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
			(7)	(ア)	㋐	多様なエネルギーとその移り変わり	身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づき，それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解するとともに，エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。	日常生活や社会と関連つけながら，さまざまなエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	日常生活や社会で使われているさまざまなエネルギーについて，見通しをもって観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈するなど，科学的に探究することができる。	さまざまなエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
						エネルギー資源とその利用	人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り，将来にわたってエネルギー資源を確保し，安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識する。	日常生活や社会と関連づけながら，エネルギー資源などの基本的な概念を理解することができる。	日常生活や社会で使われているエネルギー資源について，実験結果やデータを分析して解釈するなど，科学的に探究することができる。	エネルギー資源に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
9月 10月	22	第２分野	(5)	（ア）	㋐ ㋑	生物のふえ方と成長	生殖の観察などを通して，生物のふえ方には，無性生殖と有性生殖の２つがあることを見いだし，その違いを理解する。また，種子から根がのびる様子の観察や，細胞分裂の観察を通して，生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉えるとともに，有性生殖における減数分裂について理解する。	生物のふえ方と成長に関する事物・現象の特徴に着目しながら，生物のふえ方，生物の成長と細胞分裂についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	生物のふえ方と成長について，観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，生物のふえ方と成長についての特徴や規則性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	生物のふえ方と成長に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				（イ）	㋐	遺伝の規則性と遺伝子	生物がふえていくとき，染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わること，そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。	遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら，遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	遺伝の規則性と遺伝子について，観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				（ウ）	㋐	生物の種類の多様性と進化	現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解する。また，生物の間のつながりを時間的に見ることを通して進化の概念を身につける。	生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら，生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	生物の種類の多様性と進化について，観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
11月 12月 1月 2月	30	第1分野	(6)	（ア）	㋐	水溶液とイオン	水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い，水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解する。次に，電解質水溶液の電気分解の実験を行い，電極に物質が生成することからイオンの存在を見いだし，イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら，原子の成り立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	水溶液とイオンについて，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	水溶液とイオンに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				（イ）	㋐ ㋑	電池とイオン	金属イオンについての実験を探究的に行い，金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだし，イオンのモデルと関連づけて理解する。また，電池を製作し，電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づくとともに，イオンのモデルを用いて電池の基本的なしくみを説明できるようにする。さらに，いろいろな電池に関心をもち，燃料電池の原理についても紹介することができる。	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら，金属イオン，化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	化学変化と電池について，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	化学変化と電池に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
				（ア）	㋑ ㋒	酸・アルカリと塩	酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い，酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いださせるとともに，電離のようすをイオンのモデルを用いて説明できるようにする。また，中和反応の実験により，酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いだすとともに，中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら，酸・アルカリ，中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	水溶液とイオンについて，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現するとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究することができる。	水溶液とイオンに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
2月 3月	30	第２分野	(7)	（ア）	㋐	自然界のつり合い	植物，動物および微生物を，栄養摂取の面から相互に関連づけて捉えるとともに，自然界では，これらの生物がつり合いを保って生活していることを観察などを通して見いだし理解する。	日常生活や社会と関連づけながら，自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	生物と環境について，生物どうしの関係や，微生物のはたらきを調べる観察，実験などを行い，自然界のつり合いについて科学的に探究することができる。	生物と環境に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
		第１分野		（ア）	㋑	さまざまな物質の利用と人間	日常生活や社会では，さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識し，物質を有効利用するためには，物質の再利用などが大切であることに気づく。	日常生活や社会と関連づけながら，さまざまな物質とその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	日常生活や社会で使われている物質について，見通しをもって観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈したり，自然環境の保全と科学技術のあり方について科学的に考察して判断したりするなど，科学的に探究することができる。	さまざまな物質に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
					㋒	科学技術と人間	科学技術の発展の過程について，どのようなものがあるかを理解させ，さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。また，最新の科学技術について調べ，これからの科学技術の発展の方向性を，科学的根拠をもって検討できる。	日常生活や社会と関連づけながら，科学技術の発展についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	科学技術の発展について，見通しをもって情報収集や資料調査などを行い，その結果を分析して解釈し，科学技術の発展の方向性について根拠にもとづいて予測するなど，科学的に探究することができる。	科学技術の発展に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
		第２分野		（ア）	㋑	人間と環境	身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い，人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解し，自然環境を保全することの重要性を認識するとともに，大地の特徴を理解し，自然を多面的，総合的に捉え，自然と人間の関わり方について，科学的に考察して判断する能力や態度を身につける。	日常生活や社会と関連づけながら，自然環境の調査と環境保全，地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	自然環境の調査と環境保全，地域の自然災害について，身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる調査などを行い，自然環境の保全や自然と人間との関わり方について科学的に考察して判断するなど，科学的に探究することができる。	自然環境の調査と環境保全，地域の自然災害に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	
		第１分野		（イ）	㋐	持続可能な社会をめざして	科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的，総合的に捉え，自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し，持続可能な社会をつくることの重要性を認識する。	日常生活や社会と関連づけながら，自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解し，科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	自然環境の保全と科学技術の利用について，調査活動や討論などを行い，持続可能な社会の構築に向けて，科学的な根拠にもとづいて多面的・総合的に考察して判断し，行動するなど，科学的に探究することができる。	自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，持続可能な社会の構築に向けて，科学的に探究しようとしている。	

音楽

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
音楽科
第３学年

１．教科の目標
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)音楽表現を創意工夫することや音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽を愛好する心情を育むとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽に親しんでいく態度を養い，豊かな情操を培う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)「音楽の構造」を捉えることとを関連付けて指導を行い、音楽を形作っている要素との関りの中で捉えていくことのできるものとして設定する。	（知識・技能）
(2)「音楽を形づくっている要素」の部分は、音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの中から、その題材の学習内容を踏まえて適切に選択して置き換える。	（思考・判断・表現）
(3)「楽しみながら取り組んでいるか」を評価するものではなく、あくまで、主体的、協同的に取り組む際に「楽しみながら」取り組めるように指導を工夫する必要があることを示唆している。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	実技試験・小テスト等
(2)思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて思いや意図を持ったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	実技試験・小テスト等
(3)主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験・グループ発表時の取り組み

４．年間指導計画

・授業時数　　35 時間

・教科書　　教育芸術社　「中学生の音楽　２・３年　下」

・副教材　　中学生の器楽、コーラスフェスティバル、音楽のワーク２・３年　下

第３学年　　音楽科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	3	A表現	(1)歌唱	ア	イ	日本の歌のよさや美しさを理解して，歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに，それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	[思] リズム，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
５月	3	B鑑賞	(4)鑑賞	ア	イ	音楽の特徴や背景を理解して，その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わり，音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，生活や社会における音楽の意味や役割について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 曲想と音楽の構造との関わり，音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	[思] 音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，生活や社会における音楽の意味や役割について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わり，音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
６月	3	A表現	(1)歌唱	ア	ウ	曲種に応じた発声を生かして，歌唱表現を工夫しよう	●声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに，それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	[思] リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
7月	3	B鑑賞	(4)鑑賞	ア	イ	ポピュラー音楽の特徴を理解して，その魅力を味わおう	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解するとともに，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。	［知］音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解している。	［思］音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	［態］音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
９月	3	A表現	(1)歌唱	ア	イ	全体の響きや各声部の役割を生かして，歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに，それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	［知］曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 ［技］創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け，歌唱で表している。	［思］音色，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	［態］※曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
１０月	3	A表現	(1)歌唱	ア	イ	仲間とともに，表情豊かに合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに，それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	［知］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ［技］創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け，歌唱で表している。	［思］音色，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	［態］※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
１１月	4	A表現	(1)歌唱	ア	イ	仲間とともに，表情豊かに合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに，それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	［知］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ［技］創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け，歌唱で表している。	［思］音色，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	［態］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
１２月	3	A表現	(3)創作	ア	ウ	音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして，創作表現を工夫しよう	●音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに，それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	［知］音階の特徴及び音のつながり方の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。 ［技］創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け，創作で表している	［思］リズム，旋律，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	［態］音階の特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１月	3	B鑑賞	(4)鑑賞	(4)鑑賞	イ	我が国の伝統的な歌唱，和楽器の音色や響きを生かして，表現を工夫しよう	●我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と，その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに，生活や社会における音楽の意味や役割について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と，その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	[思] 音色，リズム，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，生活や社会における音楽の意味や役割について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と，その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
２月	3	B鑑賞	(4)鑑賞	ア	イ	音楽の特徴や背景を理解して，その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わり，音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，生活や社会における音楽の意味や役割について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 曲想と音楽の構造との関わり，音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	[思] 音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，生活や社会における音楽の意味や役割について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わり，音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
３月	4	B鑑賞	(4)鑑賞	ア	イ	日本の歌のよさや美しさを理解して，歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに，それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	[思] リズム，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	

美術

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
美術科
第３学年

１．教科の目標
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	（知識・技能）
(2)造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生み出した豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)美術の創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を育み，感性を豊かにし，心豊かな生活を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)造形的な要素とは何か、具体的に説明するとともに表現方法を創意工夫しながら創造的に表わせるよう指導する。	（知識・技能）
(2)参考作品などを例に挙げ、造形的な美しさ、表現の意図や方法などについて、相互鑑賞させ、各自の意見を述べるよう指導する。発想や構想を練ったりするためのアイディアスケッチ、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるよう映像や資料などを鑑賞させる。	（思考・判断・表現）
(3事前に参考作品や参考映像・資料を提示することで意欲を高める。また生徒の完成作品について、相互鑑賞や全体鑑賞を行い、お互いの作品の良さを理解するとともにプレゼンテーション能力を高める。また、鑑賞まとめプリントなどで振り返りを行う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し，創造的に表している。	作品、ワークシート、まとめプリント
(2)思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品、ワークシート、まとめプリント
(3)主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている	ワークシート、授業態度、作品、まとめプリント

４．年間指導計画

・授業時数　　35　時間

・教科書　　光村図書　美術２・３

・副教材　　秀学社　美術資料　広島県

第３学年　　美術科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	1	B鑑賞	(1)	ア	(ア)	オリエンテーション 私たちに問いかける美術	美術を学習することの大切さを学ぶ。 教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもつ。	美術を学習することの大切さ理解している。教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもっている。	美術を学習することの大切さや学習内容について考え、その価値観について考察している。	美術を学習することの大切さについて考察し、主体的に学習活動へ取り組もうとしている。	
４月 ５月 ６月	9	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	ア ア ア	(ア) (ア) (イ) (ア)	心の中の風景を表す 風景スケッチと風景画	心に残る風景を表すことに関心をもち、記憶の中にある風景に、自分の気持ちをどう重ねて表すかを考えて主題を生み出す。 主題をもとに、形や色彩、構図などの構想を練る。 形や色彩、構図などを工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、心情を通して捉えた風景を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。自分の表したい心情に合った材料や用具を選択し、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表している。	心に残っている風景に、自分の気持ちをどう重ねて表すかを考えて主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。風景を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者がどのような気持ちを重ねて描いたのかを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に心に残っている風景に気持ちを重ねて表す表現の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
７月	2	B鑑賞	(1)	ア イ	(ア) (イ)	漫画表現を楽しむ	漫画表現の特徴や作品ごとの表現の違いを考えながら作品を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	漫画の線や文字、構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、漫画の表現を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	漫画表現の特徴や効果の造形的なよさや美しさを感じ取り、読者を作品の世界に引き込むための表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、読者を作品の世界に引き込むための漫画表現の工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
７月 ８月 ９月	6	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	ア ア ア イ	(ア) (ア) (ア) (イ)	空想の世界へようこそⅠ 立体表現	空想の世界を表した表現に関心をもち、現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出す。 主題をもとに形や色彩、材料などの構想を練る。 表したいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、絵や彫刻に表された空想の世界を全体のイメージで捉えることを理解している。自分の表したい空想の世界に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。空想の世界を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、想像を膨らませ、空想の世界を表す表現の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１０月 １１月	8	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	ア ア ア	(ア) (ア)(イ) (ア)	空想の世界へようこそ２ 絵画表現	空想の世界を表した表現に関心をもち、現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出す。 主題をもとに形や色彩、材料などの構想を練る。 表したいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、絵や彫刻に表された空想の世界を全体のイメージで捉えることを理解している。自分の表したい空想の世界に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。空想の世界を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、想像を膨らませ、空想の世界を表す表現の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
１２月 １月 ２月	7	A表現 B鑑賞	(1) (2) (1)	イ ア ア イ	(イ) (ア) (イ) (イ) (ア)	メッセージを伝える	メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち、メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出す。 主題をもとに、作品形態や構成、配色やコピーなどの構想を練る。 形や色彩、材料、構成などを工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色彩、構成などが見る人に与える効果や、造形的な特徴をもとに、伝達のデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。	メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出し、絵や文字などの組み合わせの効果や、わかりやすさと美しさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。ポスターなど、メッセージを伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の調和のとれた美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
３月	2	B鑑賞	(1)	ア イ	(イ) (ア)	「ゲルニカ」を鑑賞しよう	「ゲルニカ」を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取る。 タブレット端末などを活用し、作品に気づいたことなどを書き込んだり、作品の描かれた背景や作者について調べたりして、作品や美術文化への見方や感じ方を深める。 感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、ピカソが「ゲルニカ」に託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	「ゲルニカ」や、その他のピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品がつくられた背景などをもとに、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

保健体育(女子)

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
保健体育科
第３学年(女子)

１．教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習 過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)運動や健康についての自他の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かな生活を営む態度を養う。	（主体的に学習に 取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解させるとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けさせるようにする。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解させるとともに，基本的な技能を身に付けさせるようにする。	（知識・技能）
(2)自己や仲間の課題を発見させ，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫させるとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。また，個人生活における健康に関する課題を発見させ，その解決を目指して科学的に思考させ判断させているとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組めるようにする。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組めるようにする。	（主体的に学習に 取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに，基本的な技能を身に付けている。	実技テスト・筆記テスト
(2)思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに，それらを他者に伝えている。また，個人生活における健康に関する課題を発見し，その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに，それらを他者に伝えている。	実技テスト・筆記テスト ノート
(3)主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習プリント

４．年間指導計画

・授業時数　106 時間

・教科書　最新中学校保健体育（大修館書店）

・副教材　ステップアップ中学体育

第３学年(女子)　保健体育科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	9	体育分野	A体つくり運動	3年	ア、イ	体つくり運動	・自分の体の状態や変化に気付き、体を動かす楽しさや心地よさを感じる。 ・体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用する。 ・体ほぐしの運動の意義とその行い方を理解する。	○知識 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい，運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などについて理解することができる。	・自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・体つくり運動に自主的に取り組もうとするとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，話合いに貢献しようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	
5～6月	10	体育分野	C陸上競技	3年	ア	ハードル走	・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。 ・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。 ・種目の特性や自分の能力に適した課題の選び方、及びそれに合わせた練習や競技の仕方を理解する。	○知識 ・陸上競技について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・ハードル走では，スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者伝えることができる。	・陸上競技に自主的に取り組もうとするとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全に確保したりしている。	
6～7月	10	体育分野	D水泳	3年	ア、イ、ウ	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ	・続けて長く泳いだり、速く泳いだり、あるいは、競い合ったりする水泳の楽しさや喜びを感じる。 ・続けて長く泳いだり、速く泳いだりするための目標記録や課題を設定する。 ・泳法の特性に応じた技能を活用して泳ぐ。 ・競技やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・水泳について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・水泳に自主的に取り組もうとするともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
8～9月	10	体育分野	Gダンス	3年	イ	フォークダンス	・互いの動きのよさ、感じ方や表現のよさなどを認め合って、誰とでも楽しく踊る。 ・テーマに合った動きを構成したり、踊り方の課題をとらえたり、動きに変化を付けて踊る。 ・みんなで動きを合わせる、調子を合わせるなど、仲間とのかかわりをもって踊る。 ・ダンスは、集団や個人で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性や、学習の進め方を理解する。	○知識 ・ダンスについて，感じを込めて踊ったり，みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの名称や用語，踊りの特徴と表現の仕方，交流や発表の仕方，運動観察の方法，体力の高め方などについて理解することができる。 ○技能 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化とまとまりを付けて，リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・ダンスに自主的に取り組もうとするとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，作品や発表などの話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	
9～10月	12	体育分野	Gダンス	3年	イ	現代的なリズムのダンス	・ダンスの学習に主体的に取り組む。 ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って体幹部を中心に全身で自由に弾んで踊る。 ・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げることができる。	○知識 ・ダンスについて，感じを込めて踊ったり，みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの名称や用語，踊りの特徴と表現の仕方，交流や発表の仕方，運動観察の方法，体力の高め方などについて理解することができる。 ○技能 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化とまとまりを付けて，リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・ダンスに自主的に取り組もうとするとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，作品や発表などの話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 （主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
11～12月	13	体育分野	E球技	3年	ア	ゴール型 バスケットボール	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に自主的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	
12～1月	10	体育分野	C陸上競技	3年	ア	長距離走	・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。 ・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。 ・種目の特性や自分の能力に適した練習の方法や、競技の仕方を理解する。	○知識 ・陸上競技について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・長距離走では，自己に適したペースを維持して走ることができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・陸上競技に自主的に取り組もうとするとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全に確保したりしている。	
1～2月	13	体育分野	E球技	1.2年	イ	ネット型 バドミントン	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・今もっている自分や相手の技能の程度などを的確に把握し、それに応じた作戦を立てる。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
通年	3	体育分野	H体育理論	(1)		文化としてのスポーツの意義 ・現代生活におけるスポーツの意義 ・国際的なスポーツ大会の意義と役割 ・人びとを結ぶスポーツ	・スポーツは，文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを理解する。 ・オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解する。 ・スポーツは，民族や国，人種や性，障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを理解する。	・スポーツは，文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを理解することができる。 ・オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解することができる。 ・スポーツは，民族や国，人種や性，障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを理解することができる。	・文化としてのスポーツの意義について，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに，他者に伝えることができる。	・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
4～9月	8	保健分野	(1)	ア(オ)，(カ)，イ	3年	感染症に予防と健康を守る社会の取り組み ・感染症と病原体 ・感染症と体の抵抗力 ・感染症の予防 ・性感染症とその予防 ・エイズとその予防 ・保健機関とその利用 ・医療機関とその利用 ・医薬品の正しい使い方	・感染症は，病原体が主な要因となって発生すること，さまざまな感染経路で広がることを理解する。 ・感染症の多くは，感染源をなくすこと，感染経路を遮断すること，主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する。 ・性感染症は性的接触により直接感染すること，予防には性的接触を避け，コンドームを使うことが有効であることを理解する。 ・エイズはHIVの感染による性感染症であること，潜伏期間が長いこと，検査を受けることが重要であることを理解する。 ・医薬品には自然治癒力を助ける働きがあること，正しく使用することが大切なことを理解する。 ・健康の保持増進や疾病の予防には，医療・保健機関を有効に利用することがあることを理解する。 ・個人の健康は社会の取り組みと密接なかかわりがあることを理解する。	・感染症は，病原体が主な要因となって発生すること。また，感染症の多くは，発生源をなくすこと，感染経路を遮断すること，主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解することができる。 ・健康の保持増進や疾病の予防のためには，個人や社会の取組が重要であり，保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また，医薬品は，正しく使用することを理解することができる。	・健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，それらを表現することができる。	・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 （主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
10～3月	8	保健分野	(4)	ア、イ	３年	環境の健康への影響 ・環境の変化への体の適応 ・気象情報の適切な利用 ・快適で能率のよい環境 ・室内の空気の汚染と換気 ・衛生的な飲料水の供給 ・し尿とごみの処理 ・災害と環境 ・私たちの生活と環境問題	・身体には，環境に対してある程度まで適応できる能力があることを理解する。 ・人間が活動しやすい環境条件として，温度，湿度，気流や明るさに一定の範囲があることを理解する。 ・飲料水は健康と密接なかかわりがあり，水道施設や検査によって，衛生的に保たれていることを理解する。 ・空気は健康と密接なかかわりがあり，衛生的に管理する必要があることを理解する。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は，環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。 ・人間活動による環境汚染は，時代とともに公害からより広範囲な環境問題へと変化していることを理解する。	・身体には，環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は，健康に影響を及ぼすことがあること。また，快適で能率のよい生活を送るための温度，湿度や明るさには一定の範囲があることを理解することができる。 ・飲料水や空気は，健康と密接な関わりがあること。また，飲料水や空気を衛生的に保つには，基準に適合するよう管理する必要があることを理解することができる。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は，環境の保全に十分配慮し，環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解することができる。	・健康と環境に関する情報から課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，表現することができる。	・健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

保健体育(男子)

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
保健体育科
第３学年(男子)

１．教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習 過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)運動や健康についての自他の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かな生活を営む態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解させるとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けさせるようにする。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解させるとともに，基本的な技能を身に付けさせるようにする。	（知識・技能）
(2)自己や仲間の課題を発見させ，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫させるとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。また，個人生活における健康に関する課題を発見させ，その解決を目指して科学的に思考させ判断させているとともに，それらを他者に伝えることができるようにする。	（思考・判断・表現）
(3)運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組めるようにする。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組めるようにする。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに，運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また，個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに，基本的な技能を身に付けている。	実技テスト・筆記テスト
(2)思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに，それらを他者に伝えている。また，個人生活における健康に関する課題を発見し，その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに，それらを他者に伝えている。	実技テスト・筆記テスト ノート
(3)主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう，運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また，健康を大切にし，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習プリント

４．年間指導計画

・授業時数　　105 時間

・教科書　　最新中学校保健体育（大修館書店）

・副教材　　ステップアップ中学体育

第３学年(男子)　保健体育科

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	7	体育分野	A体つくり運動	3年	ア、イ	体つくり運動	・自分の体の状態や変化に気付き、体を動かす楽しさや心地よさを感じる。 ・体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用する。 ・体ほぐしの運動の意義とその行い方を理解する。	○知識 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい，運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などについて理解することができる。	・自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・体つくり運動に自主的に取り組もうとするとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，話合いに貢献しようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	
5～6月	12	体育分野	E球技	3年	ア	ゴール型 ハンドボール	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に自主的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	
6～7月	10	体育分野	D水泳	3年	ア、イ、ウ	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ	・続けて長く泳いだり、速く泳いだり、あるいは、競い合ったりする水泳の楽しさや喜びを感じる。 ・続けて長く泳いだり、速く泳いだりするための目標記録や課題を設定する。 ・泳法の特性に応じた技能を活用して泳ぐ。 ・競技やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・水泳について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・水泳に自主的に取り組もうとするともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	
8～9月	10	体育分野	Gダンス	3年	イ	フォークダンス	・互いの動きのよさ、感じ方や表現のよさなどを認め合って、誰とでも楽しく踊る。 ・テーマに合った動きを構成したり、踊り方の課題をとらえたり、動きに変化を付けて踊る。 ・みんなで動きを合わせる、調子を合わせるなど、仲間とのかかわりをもって踊る。 ・ダンスは、集団や個人で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性や、学習の進め方を理解する。	○知識 ・ダンスについて，感じを込めて踊ったり，みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの名称や用語，踊りの特徴と表現の仕方，交流や発表の仕方，運動観察の方法，体力の高め方などについて理解することができる。 ○技能 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化とまとまりを付けて，リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・ダンスに自主的に取り組もうとするとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，作品や発表などの話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
9～10月	12	体育分野	F武道	3年	イ	剣道	・自分に適した技を習得し、武道の楽しさや喜びを感じる。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を工夫する。 ・打ったり受けたりするなどの攻防を展開するための相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。 ・技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げることができる。	○知識 ・武道について，技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，伝統的な考え方，技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などについて理解することができる。 ○技能 ・剣道では，相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて，相手の構えを崩し，しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。	・攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・武道に自主的に取り組もうとするとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	
11～12月	13	体育分野	E球技	3年	ウ	ベースボール型 ソフトボール	・ソフトボールの基本的技能を身につけ、それを用いながらチームとしての集団技能を習得し、攻防ができるようにする。 （個人的技能）：キャッチ・スローイング・バッティングなど （集団的技能）：守備のコンビネーション・連携プレー ・ゲームの運営については、審判の役割を理解して公正な判定ができるようにする。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に自主的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	
12～1月	10	体育分野	C陸上競技	3年	ア	長距離走	・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。 ・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。 ・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。 ・種目の特性や自分の能力に適した練習の方法や、競技の仕方を理解する。	○知識 ・陸上競技について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・長距離走では，自己に適したペースを維持して走ることができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・陸上競技に自主的に取り組もうとするとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全に確保したりしている。	
1～2月	12	体育分野	E球技	3年	ア	ゴール型 サッカー	・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。 ・今もっている技能を発揮してゲームを行う。 ・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。	○知識 ・球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解することができる。 ○技能 ・ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に自主的に取り組もうとするとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
通年	3	体育分野	H体育理論	(1)		文化としてのスポーツの意義 ・現代生活におけるスポーツの意義 ・国際的なスポーツ大会の意義と役割 ・人びとを結ぶスポーツ	・スポーツは，文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを理解する。 ・オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解する。 ・スポーツは，民族や国，人種や性，障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを理解する。	・スポーツは，文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを理解することができる。 ・オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解することができる。 ・スポーツは，民族や国，人種や性，障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることを理解することができる。	・文化としてのスポーツの意義について，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに，他者に伝えることができる。	・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
4～9月	8	保健分野	(1)	ア(オ)，(カ)，イ	3年	感染症に予防と健康を守る社会の取り組み ・感染症と病原体 ・感染症と体の抵抗力 ・感染症の予防 ・性感染症とその予防 ・エイズとその予防 ・保健機関とその利用 ・医療機関とその利用 ・医薬品の正しい使い方	・感染症は，病原体が主な要因となって発生すること，さまざまな感染経路で広がることを理解する。 ・感染症の多くは，感染源をなくすこと，感染経路を遮断すること，主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する。 ・性感染症は性的接触により直接感染すること，予防には性的接触を避け，コンドームを使うことが有効であることを理解する。 ・エイズはHIVの感染による性感染症であること，潜伏期間が長いこと，検査を受けることが重要であることを理解する。 ・医薬品には自然治癒力を助ける働きがあること，正しく使用することが大切なことを理解する。 ・健康の保持増進や疾病の予防には，医療・保健機関を有効に利用することがあることを理解する。 ・個人の健康は社会の取り組みと密接なかかわりがあることを理解する。	・感染症は，病原体が主な要因となって発生すること。また，感染症の多くは，発生源をなくすこと，感染経路を遮断すること，主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解することができる。 ・健康の保持増進や疾病の予防のためには，個人や社会の取組が重要であり，保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また，医薬品は，正しく使用することを理解することができる。	・健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，それらを表現することができる。	・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
10～3月	8	保健分野	(4)	ア、イ	3年	環境の健康への影響 ・環境の変化への体の適応 ・気象情報の適切な利用 ・快適で能率のよい環境 ・室内の空気の汚染と換気 ・衛生的な飲料水の供給 ・し尿とごみの処理 ・災害と環境 ・私たちの生活と環境問題	・身体には，環境に対してある程度まで適応できる能力があることを理解する。 ・人間が活動しやすい環境条件として，温度，湿度，気流や明るさに一定の範囲があることを理解する。 ・飲料水は健康と密接なかかわりがあり，水道施設や検査によって，衛生的に保たれていることを理解する。 ・空気は健康と密接なかかわりがあり，衛生的に管理する必要があることを理解する。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は，環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。 ・人間活動による環境汚染は，時代とともに公害からより広範囲な環境問題へと変化していることを理解する。	・身体には，環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は，健康に影響を及ぼすことがあること。また，快適で能率のよい生活を送るための温度，湿度や明るさには一定の範囲があることを理解することができる。 ・飲料水や空気は，健康と密接な関わりがあること。また，飲料水や空気を衛生的に保つには，基準に適合するよう管理する必要があることを理解することができる。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は，環境の保全に十分配慮し，環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解することができる。	・健康と環境に関する情報から課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，表現することができる。	・健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

技術・家庭科（技術分野）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
技術・家庭科【技術分野】
第３学年

１．教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ，生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して，よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。	（知識・技能）
(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)技術分野として習得を目指す知識及び技能が，生活や社会で利用されている技術の仕組みと関係する科学的な原理・法則の基礎的な理解，技術を安全・適切に活用する技能，及び生活や社会，環境との関わりを踏まえた技術の概念の理解である	（知識・技能）
(2)技術分野として育成を目指す思考力，判断力，表現力等が，生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだし，課題を設定して解決策を構想し，製作図や回路図，計画表等に表現して試行錯誤しながら具体化し，実践を評価・改善することのできる力である	（思考・判断・表現）
(3)技術分野として育成を目指す学びに向かう力，人間性等が，安心，安全で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築のために，主体的に技術に関わり，技術を工夫し創造しようとする実践的な態度である	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解している。	実技
(2)思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	実技、プリント
(3)主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，技術を工夫し創造しようとしている。	ノート、授業態度、振り返りシート

４．年間指導計画

・授業時数　　18 時間

・教科書　　開隆堂「技術・家庭　技術分野」

・副教材　　明治図書「技術・家庭総合ノート　技術分野」

第３学年　技術・家庭科【技術分野】

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月 ５月 ６月	5	Cエネルギー変換	(1)	ア	イ	生活や社会を支える エネルギー変換の技術 エネルギーの利用、発電	○エネルギー変換の技術が生活や社会に果たしている役割に気づく。 ○エネルギー変換の技術に関する製品に込められた工夫やしくみを知る。 ○エネルギーが社会で利用されるために必要な変換や輸送について知る。 ○エネルギー資源の種類を知る。 ○発電と送電のしくみを知る。	自然界にあるエネルギー源が変換され利用されることや、電気エネルギーへの変換方法、安定供給の仕組みを説明できる。		進んで技術にかかわり、主体的に理解し、知識・技能を身に着けようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	
７月 ８月 ９月	4		(2)	ア	イ	電気回路と回路図 電気エネルギーの特徴 電気回路と回路図	○電気機器の構成を知る。 ○電気用図記号と回路図がかけるようになる。 ○部品のはたらきと図記号、回路のかき方がわかる。 ○直列回路と並列回路の違いがわかる。	電気の特性や部品の特性などを理解し、説明することができる。 回路図を用いて電気回路を表すことができる。	実験結果をもとに、適切な回路を考えることができる。		
１０月 １１月 １２月	4		(2)	ア	イ	エネルギー変換の 技術による問題解決 （実習）	○直流と交流の違いがわかる。 ○ギアのはたらきがわかる。 ○電気部品のはんだづけができる。 ○電気機器を保守点検する方法を知る。 ○ドライバを使った組み立てができる。	安全で適切な製作、実装、点検及び調整ができる。	自らの製作の過程において、改善点を考えることができる。		
１月 ２月 ３月	5		(3)	ア	イ	技術とエネルギー・環境 学習のまとめ	○技術での学習を振り返り、技術の見方・考え方について考える。 ○技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。 ○技術の学習を振り返り、技術の見方・考え方について確認する。 ○技術の工夫・創造とわたしたちの未来について考え、技術と主体的に関わろうとする態度を養う。		持続可能な社会を実現するために、技術を評価し、適切な管理・運用する方法や改良の方向性について考えることができる。		

技術・家庭科（家庭分野）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
技術・家庭科【家庭分野】
第３学年

１．教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，衣食住などに関する実践的・体験 的な活動を通して，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造する資質・ 能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)家族，家庭の機能について理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協議し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解し，それらに係る技能 を身に付けさせる。	（知識・技能）
(2)これからの生活を展望し，家族・家庭や地域における生活の中から課題を見いだして課題解決の方法を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。	（思考・判断・表現）
(3)家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践する姿勢を身につけさせる。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め，生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	作品制作
(2)思考・判断・表現	これからの生活を展望し，家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	レポート等
(3)主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている	自己評価シート ふりかえりシート等

４．年間指導計画
・授業時数　　17.5　時間
・教科書　　東京書籍　技術・家庭【家庭分野】
・副教材

第３学年　　技術・家庭科【家庭分野】

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4月	1	生活の課題と実践	A	(3)		報告会・評価	○実践したことをまとめ，発表し，よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。		・自分や家族の生活について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的にひょうげんするなどしている。	・自分や家族の生活について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、じっせんしようとしている。	
４月	1	1 家庭生活と消費	C	(1)		消費生活のしくみ 家庭生活における収入と支出	○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	・商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
５月	0.5	2 購入・支払いと生活情報	C	(1)		いろいろな購入方法　購入前に知っておくこと−売買契約−	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め，理解する。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり，計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組みについて理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想している。	・計画的な金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
５月	0.5		C	(1)		いろいろな支払い方法　情報を活用した上手な購入	○即時払い，前払い，後払いの特徴を理解し，利点と問題点を理解する。 ○生活情報の収集や活用のしかたを理解し，目的に合った商品を選ぶことができる。	・支払い方法の特徴が分かり，計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの購入について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。		

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
５月	1	3 消費者被害と消費者の自立	C	(2)		なくならない消費者被害	○消費者被害の現状や背景について理解し，予防の方法がわかる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・消費者被害の対応について，課題の解決に主体的に取り組み，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
６月	0.5		C	(2)		消費者を支えるもの	○消費者を支えるしくみについて理解できる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。		・よりよい生活の実現に向けて，消費者の権利と責任について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
６月	1		C	(2)		消費者の権利と責任	○消費者の権利と責任について理解し，自立した消費者をめざす。	・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。		
６月	0.5	4 持続可能な社会	C	(2)		消費行動が社会に与える影響	○購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・よりよい生活の実現に向けて，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
７月	1		C	(2)		消費行動が社会に与える影響	○環境に配慮したライフスタイルを選択し，実践できる。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。			
９月	0.5		C	(2)		世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	○持続可能な生活にするために，自分たちができることを考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。		

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
9月	0.5	2 幼児の生活と家族	A	(2)		幼児のころと今の自分	○幼児期への関心をもつ。		・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。	・幼児との関わり方について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
10月	1		A	(2)		幼児の体の発達	○幼児の身体の発育について，発達の方向性や順序性とともに，個人差があることを理解する。	・幼児の身体の発達の特徴について理解している。			
10月	1		A	(2)		幼児の心の発達	○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。	・幼児の心の発達の特徴について理解している。		・幼児との関わり方について，課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	
11月	1		A	(2)		発達にとってのおとなの役割	○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。	・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。	・幼児との関わりについて解決策を構想している。		
11月	1		A	(2)		遊びが必要なわけ	○自分の実践的・体験的な活動を通して，幼児にとっての遊びの意義を理解する。	・幼児にとっての遊びの意義について理解している。			
12月	2		A	(2)		遊びを支える環境	○幼児にとって遊びは生活そのものであり，十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。		・幼児との関わりについて解決策を構想し，考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活のために，幼児との関わり方について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
1月	0.5	3 幼児とのかかわり	A	(2)		子どもの成長と地域	○子どもの成長と地域のつながりについて知り，地域の中で，中学生ができることを考える。	・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。	・幼児との関わりについて解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活のために，幼児との関わり方について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
1月	0.5		AC			持続可能な家庭生活をめざして	○誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして，課題をみつけ，実践的に取り組む。		・社会や環境に配慮した家庭・保育・地域などの生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した生活について考え，工夫している。	・持続可能な社会を目指して，家庭・保育・地域などについて，工夫し創造し，実践しようとしている。 ・自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
１月	0.5	１ 住まいのはたらきとここちよさ	B	(6)	ア（ア）	住まいのはたらき	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。	・住居の基本的な機能について理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。	・家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
2月	0.5		B	(6)	アイ	住まいの空間	○住まいの空間の使い方について理解する。 ○さまざまな生活によって，住まい方の工夫があることを理解する。	・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。		
２月	１	２ 安全な住まいで安心な暮らし	B	(6)	ア（イ）イ	災害への備え	○地域さまざまな災害に備えて，室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。	・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
３月	0.5	まとめ	全			3年間をふり返る	○３学年間の学習を振り返り，多くのことができるようになったことに気づく。			・家庭分野で学習したことをこれからの生活に生かそうとしている。	

外国語（英語）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
外国語科【英語】
第３学年

１．教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動を通して，簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	（知識・技能）
(2)コミュニケーションを行う場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	（思考・判断・表現）
(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	（主体的に学習に取り組む態度）

２．教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)言語の使用場面や働きを正しく理解し，コミュニケーションにおける活用できる技能を身に付けられるように指導を行う。	（知識・技能）
(2)身に付けた言語を活用し，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について，表現したり，伝え合ったりできるように指導を行う。	（思考・判断・表現）
(3)言語の使用場面，相手意識を意識したコミュニケーションを行う場面を明確にし，主体的に学習したことを活用できるように指導を行う。	（主体的に学習に取り組む態度）

３．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	定期考査，単元テスト，パフォーマンステスト，学習の取り組みなど
(2)思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	定期考査，単元テスト，パフォーマンステスト，学習の取り組みなど
(3)主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	学習の取り組み，活動の観察，学習の振り返りなど

４．年間指導計画

・授業時数　　140 時間

・教科書　　ONE WORLD English Course 3 教育出版，ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION ⅠRevised 東京書籍

・副教材　　教科書準拠問題集，文法問題集等

第３学年　　外国語科【英語】

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
４月	14	(4)話すこと（発表）	イ			Lesson 3 Space Tourism 宇宙旅行や宇宙ごみについて話されていることを理解する。	行動や状態の説明を含めて、クラスメートを紹介することができる。	【知識】 分詞や［主語＋動詞］による後置修飾の特徴やきまりを理解している。 【技能】 分詞や［主語＋動詞］による後置修飾の特徴やきまりの理解をもとに、イベントなどについての説明文を読み取る技能を身に付けている。	海外からの転校生がクラスになじめるようにするために、公園にいるクラスメートがしていることについて、口頭で説明している。る。	海外からの転校生がクラスになじめるようにするために、公園にいるクラスメートがしていることについて、積極的に口頭で説明しようとしている。	現在分詞・過去分詞
５月	14	(2)読む (6)書く	イ イ			Readingl Lighting Up a Conrer 国境を越えて大きな功績を残した人の生き方を理解する。 Lesson4 People Who Support Success 紹介されている人物がそれぞれどんな人かを理解する。	・世界の偉人について調べ，その功績を書くことができる。	【知識】 関係代名詞の特徴やきまりを理解している。 【技能】 関係代名詞の特徴やきまりの理解をもとに、スポーツ選手を支える人などについて話された内容を聞き取る技能を身に付けている。	興味深いラジオ番組の内容を覚えておくため、スポーツ選手を支援したいと考えている人の話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	興味深いラジオ番組の内容を覚えておくため、スポーツ選手を支援したいと考えている人の話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	関係代名詞（主格・目的格）
６月	14	(4)話すこと（発表）	ウ			Lesson5 Be Yourself 登場人物のそれぞれの思いや考えを理解する。	自分の夢と、夢がかなったら何をするかを表現することができる。	【知識】 基本的な仮定法の特徴やきまりを理解している。 【技能】 仮定法の特徴やきまりの理解をもとに、家庭や学校などの日常的な話題について話された内容を聞き取る技能を身に付けている。	あるテーマについての他者の意見を知り自分の意見や考えを伝えるために、ケンタの話やスピーチを聞いて要点を捉えている。	あるテーマについての他者の意見を知り自分の意見や考えを伝えるために、ケンタの話やスピーチを聞いて要点を捉えようとしている。	仮定法
６・７月	14	(3)話すこと（やりとり）	ウ			Lesson6 Why do We Have to Work? ・ある話題について即興でディスカッションを行う。	・ある話題について即興でディスカッションを行うことができる。	・［知］：ディスカッションを行うための表現を理解することができる。 ・［技］：ディスカッションを行うための技能を身に付けている。	・ある話題について即興でディスカッションを行うことができる。	・ある話題について即興でディスカッションを行おうとしている。	ディスカッションを行うための表現

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
８月・９月	14	(3)話すこと（やりとり）	イ			Lesson7 Debating Doggy Bags ・ある話題について自分の立場を明らかにし，即興でディベートを行う。	・ある話題について自分の立場を明らかにし，即興でディベートを行うことができる。	・［知］：ディベートを行うための表現を理解することができる。 ・［技］：ディベートを行うための技能を身に付けている。	・ある話題について自分の立場を明らかにし，即興でディベートを行うことができる。	・ある話題について自分の立場を明らかにし，即興でディベートを行おうとしている。	ディベートを行うための表現
１０月	14	(2)読む	ウ			Reading2 My Prayer for Peace ・平和についてのスピーチ原稿を参考にしながら，平和についてのスピーチを行う。	・平和についてのスピーチ原稿を参考にしながら，平和についてのスピーチを行うことができる。	・［技］：自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えるためのスピーチの技能を身に付けている。	・平和についてのスピーチ原稿を参考にしながら，平和についてのスピーチを行うことができる。	・平和についてのスピーチ原稿を参考にしながら，平和についてのスピーチを行おうとしている。	
		(4)話すこと（発表）	ウ								
１１月	14	(4)話すこと（発表）	ウ			Unit 1 Why do people learn language?□ ・人々が外国語を学ぶ理由と、それをいつ、どのように使うのかを理解する。	自分の英語の学習歴、現在の英語の使い方、将来の英語の使い方について伝え合う。	・［知］：受け身，不定詞，動名詞の用法を理解することができる。 ・［技］：受け身，不定詞，動名詞を用いて，スピーチを行う技能を身に付けている。	自分の英語の学習歴、現在の英語の使い方、将来の英語の使い方について伝え合うことができる。	自分の英語の学習歴、現在の英語の使い方、将来の英語の使い方について伝えようとしている。	受け身／不定詞／動名詞
１２月	14	(5)書く	ウ			Unit2 What do superstitions mean to you? 記事などを通して，さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。	記事などを通して，さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。	・［知］：助動詞＋受け身／現在完了進行形の用法を理解することができる。 ・［技］：助動詞＋受け身／現在完了進行形を用いて，紹介文を書く技能を身に付けている。	記事などを通して，さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ことができる。	記事などを通して，さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぼうとしている。	助動詞＋受け身／現在完了進行形
１月・２月	14	(5)書く	イ			Unit3 How can we promote sustainability? ・持続可能な社会を実現するために，自分の立場で実現出来ることを書くことができる。	人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを尋ねるEメールを書く。	・［知］：分詞の形容詞的用法，関係代名詞の用法を理解することができる。 ・［技］：分詞の形容詞的用法／関係代名詞を用いて，自分の考えを書く技能を身に付けている。	人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを尋ねるEメールを書くことができる。	人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを尋ねるEメールを書こうとしている。	分詞の形容詞的用法／関係代名詞

月	時数	学習指導要領との関連（主たる指導内容）				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
2月・3月	14	(4)話すこと（発表）	イ			Unit4 What can we learn from people in Hawaii?□ ・自分の地域の言語や文化などを取り上げ，聞き手に分かりやすく発表することができる。	・自分の地域の言語や文化などを取り上げ，聞き手に分かりやすく発表することができる。	・［知］：現在完了形の受け身，過去完了形の用法をを理解することができる。 ・［技］：現在完了形の受け身，過去完了形を用いて，聞き手に分かりやすく発表することができる。	・自分の地域の言語や文化などを取り上げ，聞き手に分かりやすく発表することができる。	・自分の地域の言語や文化などを取り上げ，聞き手に分かりやすく発表しようとしている。	現在完了形の受け身／過去完了形

特別の教科　道徳

広島市立広島中等教育学校(前期課程)
道徳
第３学年

１．教科の目標

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

2．学年の重点目標

自己を見つめて、その向上に努めるとともに自覚と責任ある態度を養う。自己を取り巻く社会に対する理解を深め、人生観を培う。

３．教科の目標を達成するための指導の留意点

道徳的価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考え、人間としての生き方を深める指導を行う。	（主体的に学習に取り組む態度）

４．評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
生徒の学習状況や、道徳性に関わる成長の様子を継続的に把握する。		個人内評価として見取り，記述により評価する。

４．年間指導計画

・授業時数　　35 時間

・教科書　　明日を生きる３　日本文教出版

道徳　　第３学年

月	時数	学習指導要領との関連 （主たる指導内容）	学習内容	主体的に学習に取り組む態度
4	3	A4 希望と勇気、克己と強い意志 C15 よりよい学校生活、集団生活の充実 C13 勤労	・相撲を世界に ・世界一のロッカールーム ・あるレジ打ちの女性	自分自身を振り返り，自らの行動や考えを見つめ直し，考えを広げようとしている。
5	3	C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 B8 友情、信頼 C11 公正、公平、社会正義	・使い手を驚かせて魅了する ・違うんだよ、健司 ・卒業文集最後の二行	教材から多くの学びを受け取り，前向きに自分の考え方へ反映させようとしている。
6	4	C18 国際理解、国際貢献 D19 生命の尊さ A1 自主、自律、自由と責任 B9 相互理解、寛容	・命のトランジットビザ ・エリカ～奇跡のいのち～ ・私も高校生 ・親友と語り合った「孤独の解消」	今までの考えにとらわれず，柔軟に新たな価値観や学びを吸収しようとしている。
7	2	C12　社会参画、公共の精神 A3 向上心、個性の伸長	・No Charity, but a Chance! ・新しい夏のはじまり	自分自身を振り返り，他者の意見に耳を傾け，自分の考えを広げようとしている。
8	2	C16 郷土伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 C11 公正、公平、社会主義	・「稲むらの火」 ・命の大切さ	人間の意志の弱さと向き合ったうえで，よりよく生きたいという意識を持とうとしている。
9	3	B8 友情、信頼 A3　向上心、個性の伸長 C10 遵法精神、公徳心	・ゴリラのまねをした彼女を好きになった ・カラフルな世界で ・二通の手紙	たくさんの人の意見から知れることに気づき，広い視野や友人の視点から多面的・多角的に捉えようとしている。
10	3	D22 よりよく生きる喜び B6　思いやり、感謝 C13 勤労	・世界を動かした瞳 ・電車の中で ・失った笑顔を取り戻す	今までの考えにとらわれず，柔軟に新たな価値観や学びを吸収しようとしている。
11	4	C12 社会参画、公共の精神 D20 自然愛護 A5 真理の探究、創造 A1 自主、自立、自由と責任	・海のごみは「まちなか」で生まれる ・「川端」のある暮らし ・ちょっと寄り道を－研究者・眞鍋淑郎－ ・町内会デビュー	主体的に話し合い，他者との感じ方や考え方の違いに気付き，自分の価値観を広げようとしている。
12	3	D19 生命の尊さ A2 節度、節制 B7 礼儀	・臓器提供 ・独りを慎む ・マナーってなんだろう	道徳的な問題に対して自己の考えを他者と共有する中で，理解を更に深めようとしている。
1	3	D21 感動、畏敬の念 C29 国際理解、国際貢献 D22 よりよく生きる喜び	・星空を届けたい ・本とペンで世界を変えよう ・生きてこそ－石井筆子の生涯－	自らの行動をきちんと検証し，改善していこうという意欲を持とうとしている。
2	3	B6 思いやり、感謝 C14 家族愛、家庭生活の充実 C10 遵法精神、公徳心	・塩むすび ・一冊のノート ・キラー・ゼブラと呼ばれて	自分に不足して事柄などを，様々な示唆から学ぶ姿勢を教材から学び取ろうとしている。

月	時数	学習指導要領との関連 （主たる指導内容）	学習内容	主体的に学習に取り組む態度
3	2	C12 社会参画、公徳心 D19 生命の尊さ	・サトシの一票 ・希望 ・1年間の振り返り	課題を前にしてしっかりと向き合い，自分を向上させようとする意欲を持とうとしている。

備考

備考